

後藤克芳

ニューヨークだより
“一瞬一瞬をアートする”

Goto Katsuyoshi :
A Pop Artist in New York
—Turning Every Moment into Art

2020年10月3日(土)
～11月23日(月・祝)

*会期中、展示替えがあります

前期:10月3日(土)～10月25日(日)

後期:10月27日(火)～11月23日(月・祝)

大胆かつ繊細

後藤克芳のポップアート、東京初の回顧展！

後藤克芳(1936～2000)は、ニューヨークを舞台に、現代美術の新しい流れとなったポップアートに取り組み、活躍した作家です。主に木を用い、スーパーリアリズムの手法で、驚くべき完成度の高さをみる半立体作品を制作しました。自然豊かな山形県米沢市に生まれ育ち、武蔵野美術学校の西洋画科を卒業後、数年で渡米、永住権を獲得し、終生制作に励みました。ニューヨークで刺激に満ちた生活を送った後藤は「ニューヨークだより」を山形新聞などへ連載していました。その内容やポップでキッチュな作風とは裏腹に、非常に几帳面な仕上がりをみせる作品は、いつまでも飽きることがありません。

今回、多くを所蔵する米沢市上杉博物館の全面協力により、後藤の没後、遺族によって郷里へもたらされた後藤の作品群を一堂に紹介します。



①《Duco CEMENT》1980年米沢市上杉博物館

【通期展示 10/3－11/23】

会期や開館時間、イベント等変更・中止となる場合があります。最新情報は、当館ホームページまたはSNS等でご確認ください。



渋谷区立 松濤美術館
THE SHOTO MUSEUM OF ART

◇ 展覧会構成

1 郷里米沢 60's

山形県米沢市の緑豊かな地に生まれ育った後藤は、幼少時に患った脊椎カリエスによる身体的障害を心配した母の勧めもあり、小学校時代から絵に親しみました。やがて武蔵野美術学校(現 武蔵野美術大学)へ進み上京すると、後に国内外で活躍するアーティストの卵たちと親交を深めます。1960年代、彼らが次々と渡米するのにつき、後藤も夢と希望を胸いっぱい、64年、ニューヨークへ旅立ちました。ここでは渡米前までの油彩画を紹介します。



② 《青の静物》1959年

米沢市上杉博物館

【通期展示 10/3-11/23】

2 ニューヨーク 70's~80's

ニューヨークで後藤は様々なアルバイトで生計を立てながら、制作を続けました。1972年に同郷の夫人と結婚し、ついに永住権を得ます。「ニューヨークの画壇を制覇する」心意気を胸に、多くの友人と交流を持ちながらコツコツと地道に努力を続けました。79年に作品が認められるという機会を得て後、一流の画廊で勝負をしたいと作品発表をやめ、制作に集中します。代表作《COLORADO》をはじめ、多くの半立体作品を紹介します。



③ 《COLORADO》1977-79年

米沢市上杉博物館

【通期展示 10/3-11/23】

3 ニューヨーク 90's

50代となった後藤は、ニューヨークの生活を謳歌しながら、若者とも積極的に交流し、自分の感性を磨いていました。日常にある身近なものを題材に、思いがけない組み合わせやユーモアを交えた作品は、若い頃から一貫して丁寧に作りこまれています。それら90年代の多くの作品を、前期と後期で展示替えをしながら紹介します。

④ 《NYC》1993年

米沢市上杉博物館

【後期展示 10/27-11/23】

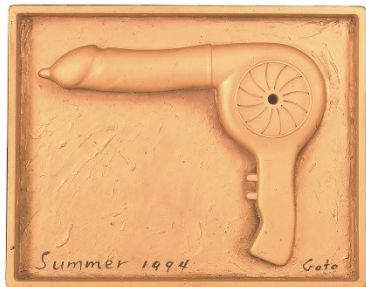


EX. 後藤の種

後藤作品の多くは1メートル前後の大きな半立体作品です。そのモチーフとなったものは、ポップアートの王道である「日常の身近なもの」でした。後藤がヒントとしたそれらの題材を、米沢市上杉博物館では「後藤の種」と名付けています。それらさまざまな創作の種をいくつか紹介します。また、学生時代あるいはニューヨークで交流のあった篠原有司男や河原温から後藤に贈られた作品なども展示します。

4 AIDS エイズ・ウォーク

1990年、ポップアーティストのキース・ヘリングがエイズで亡くなると、彼と知り合ってた間もなかった後藤は大きな衝撃を受けました。エイズへの警鐘を鳴らし、寄附金を募るために全米各地で開催されるエイズ・ウォークにも、後藤は多くの若者に声をかけ、積極的に参加しました。91年頃から後藤はエイズ問題を取りあげる作品を多く作り、日本へ向けた雑誌や新聞での連載記事でも警鐘を鳴らし続けました。



⑤ 《SUMMER 1994》1994年
米沢市上杉博物館
【前期展示 10/3-25】

5 CATS 愛猫とともに

1996年から97年にかけて、後藤の作品は猫一色になります。「ネコもマグロがお好き」という展覧会も企画・開催しました。2000年1月に病没する数年前から、1年おきに1匹ずつ、合計3匹の猫を飼い、子供のようにかわいがっていたといいます。愛猫たちをモチーフにした作品は、後藤が得意とした写真のように描写するスーパーリアリズムがよく発揮されています。



⑥ 《WINDOW》1997年
米沢市上杉博物館
【後期展示 10/27-11/23】

◇会期中イベント

◎記念講演会

「後藤克芳と米沢」

講師：花田美穂 氏（米沢市上杉博物館 学芸担当主査）

11月8日（日）午後2時～ 地下2階ホール

* 無料（要入館料） * 定員30名
* 申込先着順

◎特別講座

「後藤克芳の“ニューヨークだより”」

講師：清水緑（本展担当学芸員）

10月25日（日）午後2時～ 地下2階ホール

* 無料（要入館料） * 定員30名
* 申込先着順

◎ワークショップ「いろ紙でモビールをつくろう」

後藤作品のモチーフのハートや魚などの形を色紙できりとり、モビールをつくります。

11月15日（日）午前11時～午後3時 地下2階ホール

* 無料（要入館料） * 自由参加 * 材料がなくなり次第終了
* 作業時間：約20分

◎館内建築ツアー ※中止となりました

白井晟一設計の美術館建築を館員がご案内します

10月9日、16日、23日、30日

11月6日、13日、20日（いずれも金曜日）

各日午後6時～ 約30分

* 無料（要入館料） * 各回定員20名
* 事前予約の必要はありません



⑦ 《LOVE LOCK》
1989年
米沢市上杉博物館
【通期展示 10/3-11/23】

講演会&講座 申込方法

* 往復はがき、またはメール
(event@shoto-museum.jp) にて

〒・住所・氏名・年齢・日中連絡のつく電話番号・希望イベント名をご記入ください。各イベントごと、1通につき1名まで申込可能。

* 迷惑メール等の受信制限をされている方は、事前に@shoto-museum.jp ドメインより受信できるようにしてください。

◎学芸員によるギャラリートーク

10月17日（土）、11月1日（日）、13日（金）

各日午後2時～ 約40分

* 無料（要入館料）
* 事前予約の必要はありません

◇開催概要

展覧会名	後藤克芳 ニューヨークだより “一瞬一瞬をアートする” Goto Katsuyoshi: A Pop Artist in New York -Turning Every Moment into Art
会期	2020年10月3日(土)～11月23日(月・祝) 前期10月3日～25日 後期10月27日～11月23日
開館時間	午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで) ※毎週金曜日の夜間開館は ※金曜は午後8時閉館(入館は午後7時30分まで) 当面の間中止いたします。
入館料	一般500(400)円、大学生400(320)円、高校生・60歳以上250(200)円 小中学生100(80)円 *()内は団体10名以上及び渋谷区民の入館料 *土・日曜日、祝休日は小中学生無料 *毎週金曜日は渋谷区民無料 *障がい者及び付添の方1名は無料
休館日	月曜日(ただし、11月23日は開館)、11月4日(水)
リピーター割引	通常料金の入館券の半券を、入館日翌日以降の本展会期中にお持ちいただくと、通常料金から2割引でご入館できます。お持ちいただいた半券は回収します。
主催	渋谷区立松濤美術館
特別協力	米沢市上杉博物館
会場	渋谷区立松濤美術館 〒150-0046 東京都渋谷区松濤2-14-14 電話: 03-3465-9421 https://shoto-museum.jp

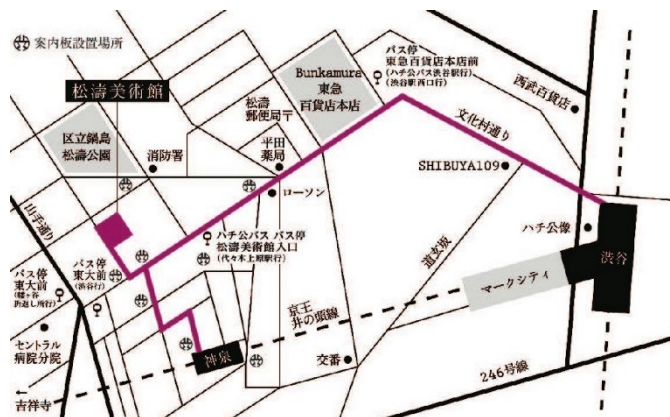
交通案内

- 京王井の頭線 神泉駅下車徒歩5分
- JR・東京メロ・東急電鉄 渋谷駅下車徒歩15分
- ※駐車場はございません。

◇次回展のご案内

舟越 桂 私の中にある泉

2020年12月5日(土)～2021年1月31日(日)



報道関係のお問い合わせ

広報担当 西・木原(pr-sma@shoto-museum.jp)
電話: 03-3465-9421 FAX: 03-3460-6366

展覧会担当: 清水(shimizu@shoto-museum.jp)
木原(kihara@shoto-museum.jp)

- * 画像をご希望の場合は、作品名の前にある番号をお知らせください。
- * 画像の使用は、本展のご紹介をいただける場合のみとさせていただきます。
- * 画像のご利用後、データは破棄してください。
- * 基本情報確認のため、一度校正をお送りください。
- * 掲載後、見本誌をご送付くださいますようお願いいたします。